

保存版

北中島地区防災計画



いざというときのために！
～いのちを守る備えと行動～

令和5年作成

北中島地域活動協議会

所在地 大阪市淀川区東三国1丁目2-6

北中島社会福祉会館

TEL 06-6397-8400

URL <https://ia-ip.facebook.com/kitanakachikatsu/>



～はじめに～

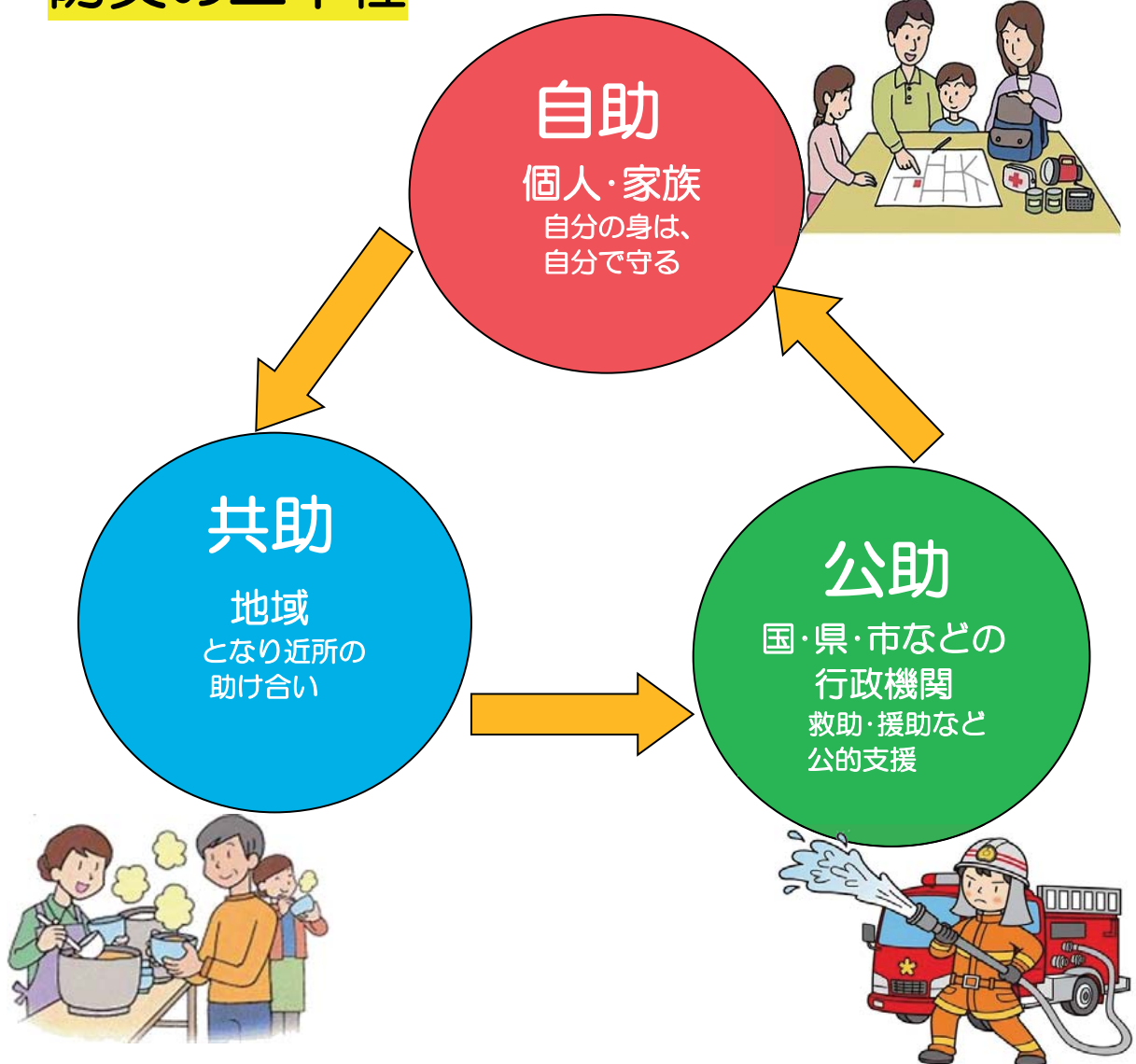
「顔の見える町 安心安全な町 住んで良かった北中島」を目指す北中島地域では、防災・減災に関して自助・共助・公助の『自助⇒共助』を重点に地域の協働体制を確立するため、地区防災計画の見直しとともに災害発生時の対策のためマニュアルの改正を行いました。

もしものときに、少しでも被害を少なくするためには、「日頃から備える」ことが何より大事です。

何もない時に考えること、そして災害が起こった場合の「行動」を意識することが防災・減災につながります。

有事に備え、何が必要か？どう行動するのか？ご自身で考えるうえでも参考にしていただき、一人でも多くの命が助かることを願って作成しております。

防災の三本柱



— 目 次 —

【地区防災について】

- 1 北中島地域の概要・・・・・・・・・・ P.1
- 2 防災活動（組織図）・・・・・・・・・・ P.2～4
- 3 防災マップ・・・・・・・・・・ P.5～6
- 4 災害時避難所リスト・・・・・・・・・・ P.7～8
- 5 災害発生時の行動
 - （地震）フローチャート・・・・・・・・ P.9
 - （風水害）フローチャート・・・・・・・・ P.10

【避難所関係】

- 6 資機材リスト（地域）・・・・・・・・ P.11
- 7 備蓄品リスト（避難所）・・・・・・・・ P.12～13
- 8 避難所における共通ルール・・・・・・・・ P.14
- 9 避難所開設のながれ・・・・・・・・ P.15～16
- 10 要援護者の支援活動・・・・・・・・ P.17

【家庭での備え】

- 11 非常備蓄品・持出し品リスト・・・・・・・・ P.18～19
- ※ ローリングストックとは・・・・・・・・ P.20
- ※ わが家の防災メモ・・・・・・・・ P.21

1. 北中島地域の概要

<地域の特徴>

【人口】 18,925 人 【世帯数】 12,891 世帯

(大阪市 HP 住民基本台帳人口より 令和 5 年 3 月末現在)

※高齢者人口（65 歳以上）が占める割合は、4 人に 1 人と高齢化が進んでおり、要援護者（災害発生時、必要な情報の把握や避難生活等に特に配慮を要する方）も多く在住しています。

地域のほぼ中心を、国道 423 号線と大阪メトロ御堂筋線が南北に通っており、大阪メトロ東三国駅を中心として地域が東西に分かれています。

南側には新大阪駅、東には JR 京都線の東淀川駅もあり、交通の面ではかなり便利ですが、大きな地震の際には線路、道路により分断される可能性もあります。

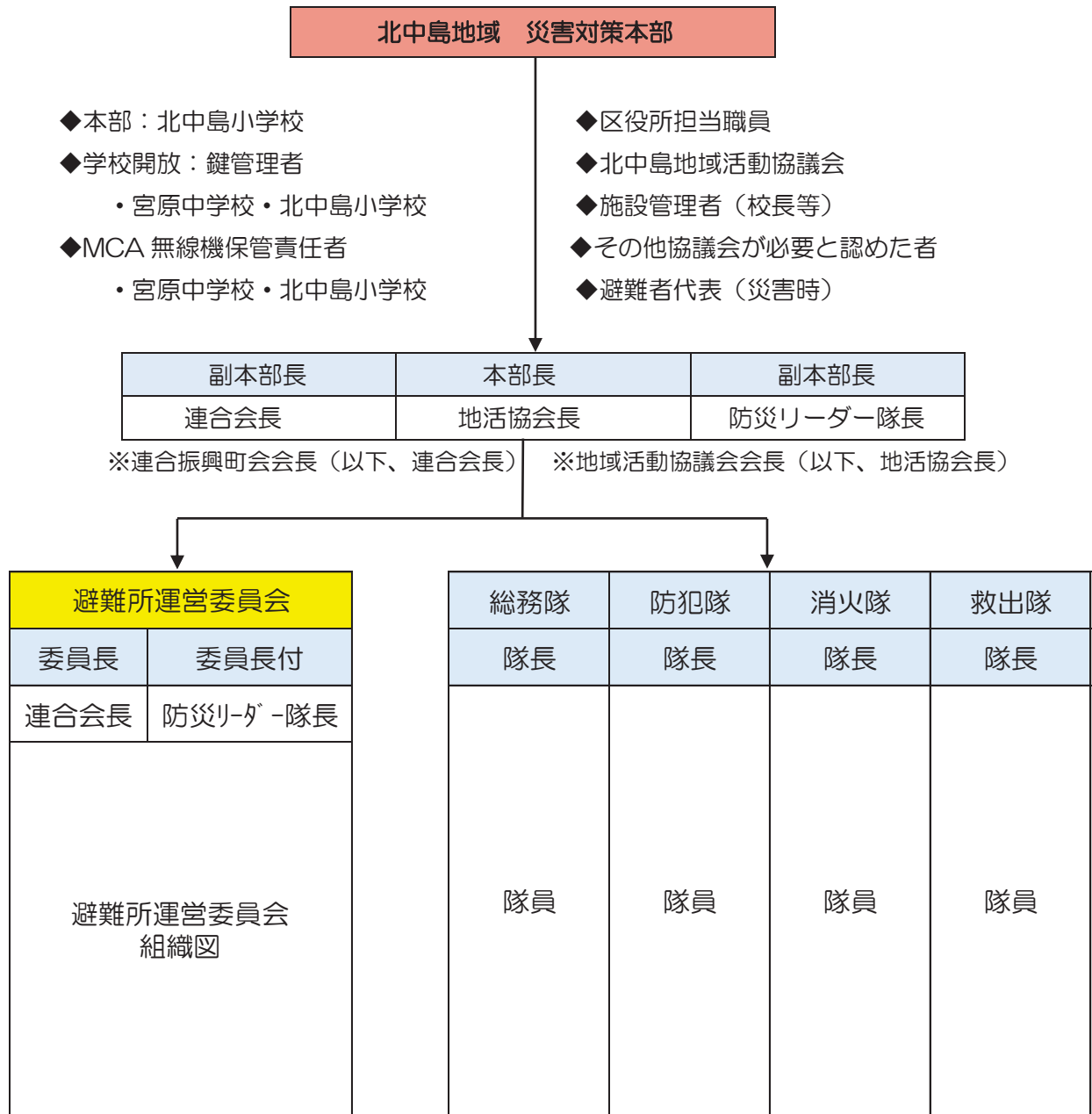
また立地の良さから、地域の南にあたる新大阪駅周辺には医療専門学校や多くの会社が入る高層ビルが建ち並び、分譲マンションやワンルームマンションも増えています。

それとは対照的に、地域の北側には昔ながらの平屋や一戸建て住宅とマンションが混在しており、昼と夜の人口差は大きく、時間帯によっては帰宅困難者もかなり多くなると予想されます。



2. 防災活動

(1) 【災害対策本部】



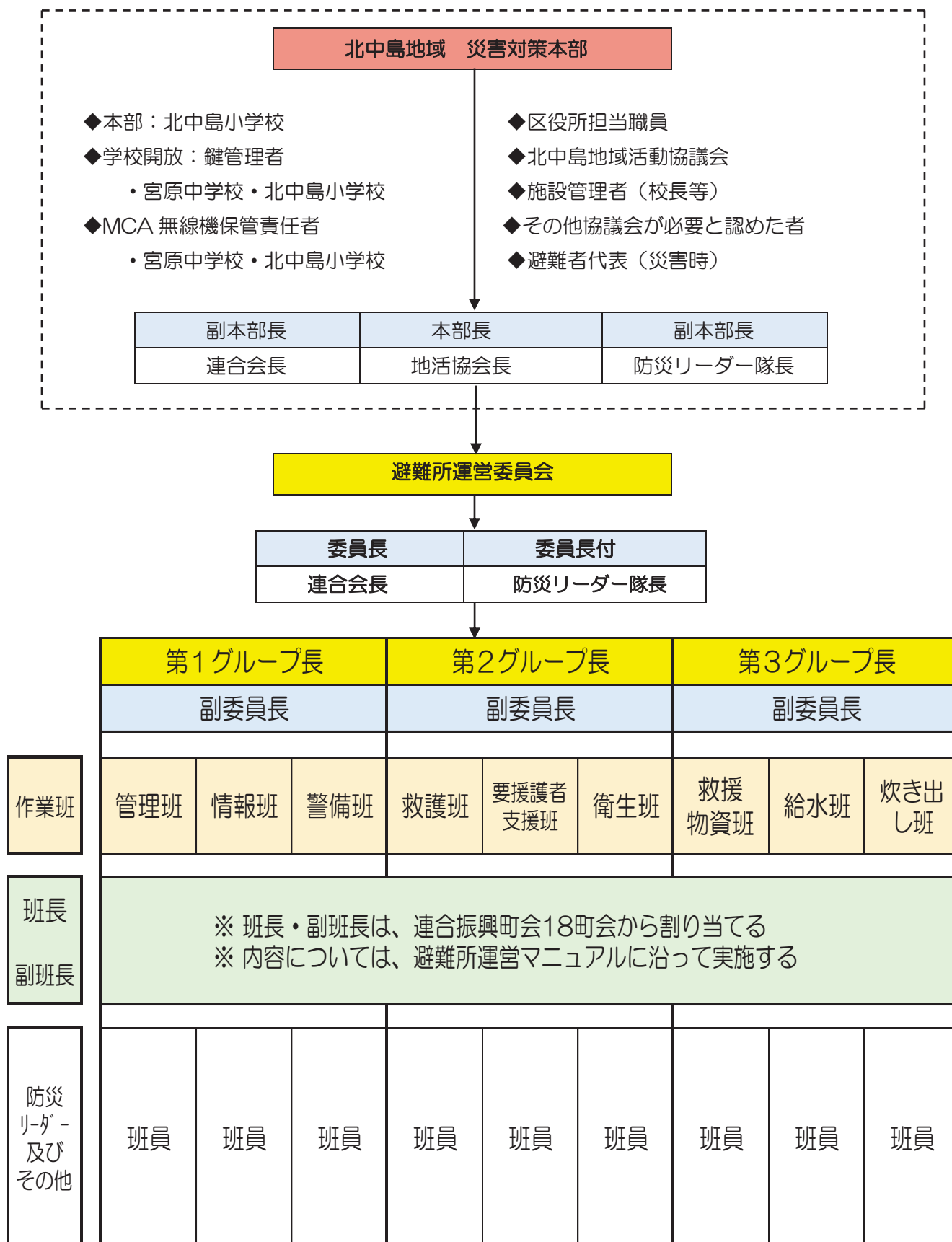
総務隊：企画・運営・総括・各隊、班との連絡調整・区本部との連絡調整

防犯隊：地域不審者見回り・警備・本部通報

消火隊：可搬式ポンプ一元管理・地域内被害状況報告など

救出隊：資器材の一元管理・下敷き救出

(2)【避難所運営委員会】



(3) 平常時における防災活動

項 目	具体的内容	実施時期
防災訓練	毎年、防災訓練を実施し、住民の防災意識を高め災害のときに備える 	毎年 1～2月頃
避難所開設訓練	毎年、避難所開設訓練を「避難所運営マニュアル」に沿って実施し、災害時に向けて見直しを行う 	毎年秋頃
防災リーダーの育成	各町会で2年に1回の役員改正時に防災リーダーを選出 ⇒定期的に研修を実施する 	随時
PTA との連携	PTA による校外パトロールや防災まちあるきを通して、危険箇所、防災資源、避難ルートなどを把握し、情報共有をすることで地域住民の防災意識の向上を目指す 	随時
要援護者の支援体制の整備	日頃から、地区居住者と要援護者が、顔の見える関係を形成し、災害発生時に迅速に避難できる体制を整える 	随時
地区防災計画の見直し	1年間の防災活動を検証し、訓練参加者へのアンケート調査やその他の意見をもとに見直しを行う ⇒次年度の計画を立てる 	防災訓練後

3. 防災マップ



-  災害避難所
-  一時避難場所
- ①～⑱ 各町会 一時避難場所
-  津波避難ビル
-  広域避難場所
-  防災スピーカー
-  公衆電話
-  寺

【参考資料】
 大阪市防災アプリ
 大阪市危機管理室

淀川区防災 LINE
 淀川区役所



4. 災害時避難所リスト

(1) 避難所

災害時避難所	北中島小学校
--------	--------



(2) 一時避難場所

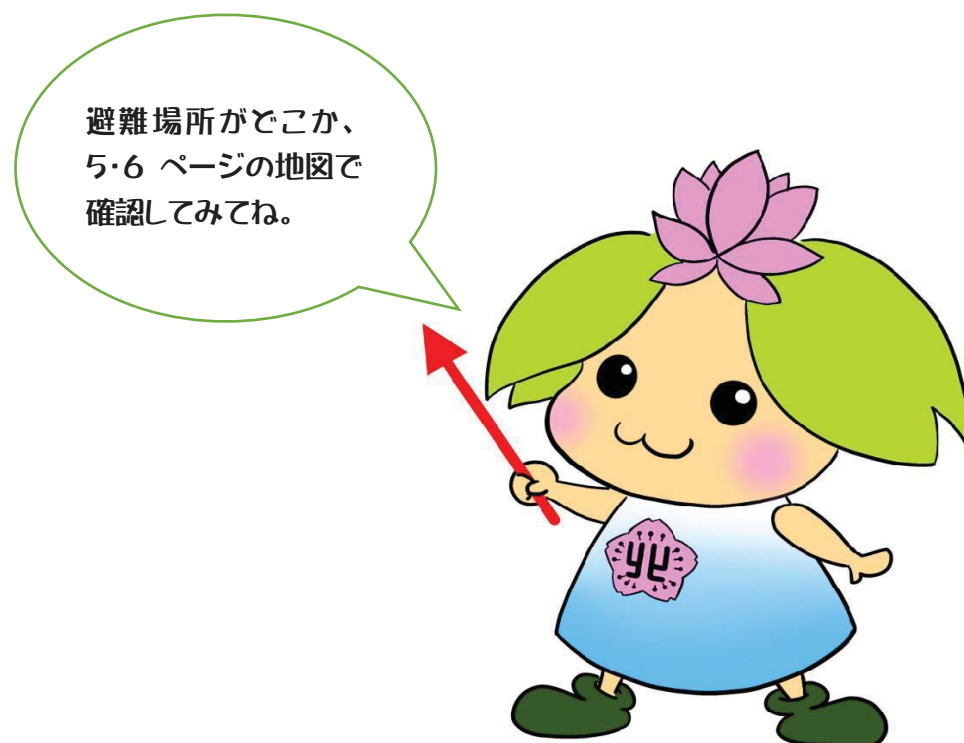


町会	一時避難場所
宮原第1振興町会	① 宮原薬師堂
宮原第2振興町会	② 宮原会館
宮原第3振興町会	② 宮原会館
宮原第4振興町会	② 宮原会館
東栄会東振興町会	③ 新大阪サンプラザホテル前
東栄会南振興町会	④ サンクチュアリミクニビル付近（元淀川温泉付近）
東栄会中振興町会	⑤ ニコニコキッチン前（東三国 1-15-8）
東栄会西振興町会	⑥ 石原産業付近
砂東振興町会	⑦ 東三国駅東側：常光寺前 ⑪ 東三国駅西側：全管連前
ネオハイツ新大阪振興町会	⑧ 北中島コミュニティー広場
新大阪グランドハイツ振興町会	⑨ グランドハイツ前公園
砂中振興町会	⑩ 砂中会館前
井有1南振興町会	⑫ 南方面：志米穀店 ⑬ 北方面：大拓前
宮西振興町会	⑭ 北中島公園 時計台前
砂西振興町会	⑭ 宮原5：北中島公園 ⑮ 東三国4・西宮原3：ちびっこ広場
東三国4西振興町会	⑯ セブンイレブン駐車場 北中島温泉横
ファミリー北大阪第1振興町会	⑰ ファミリー公園
ファミリー北大阪第2振興町会	⑱ ファミール広場

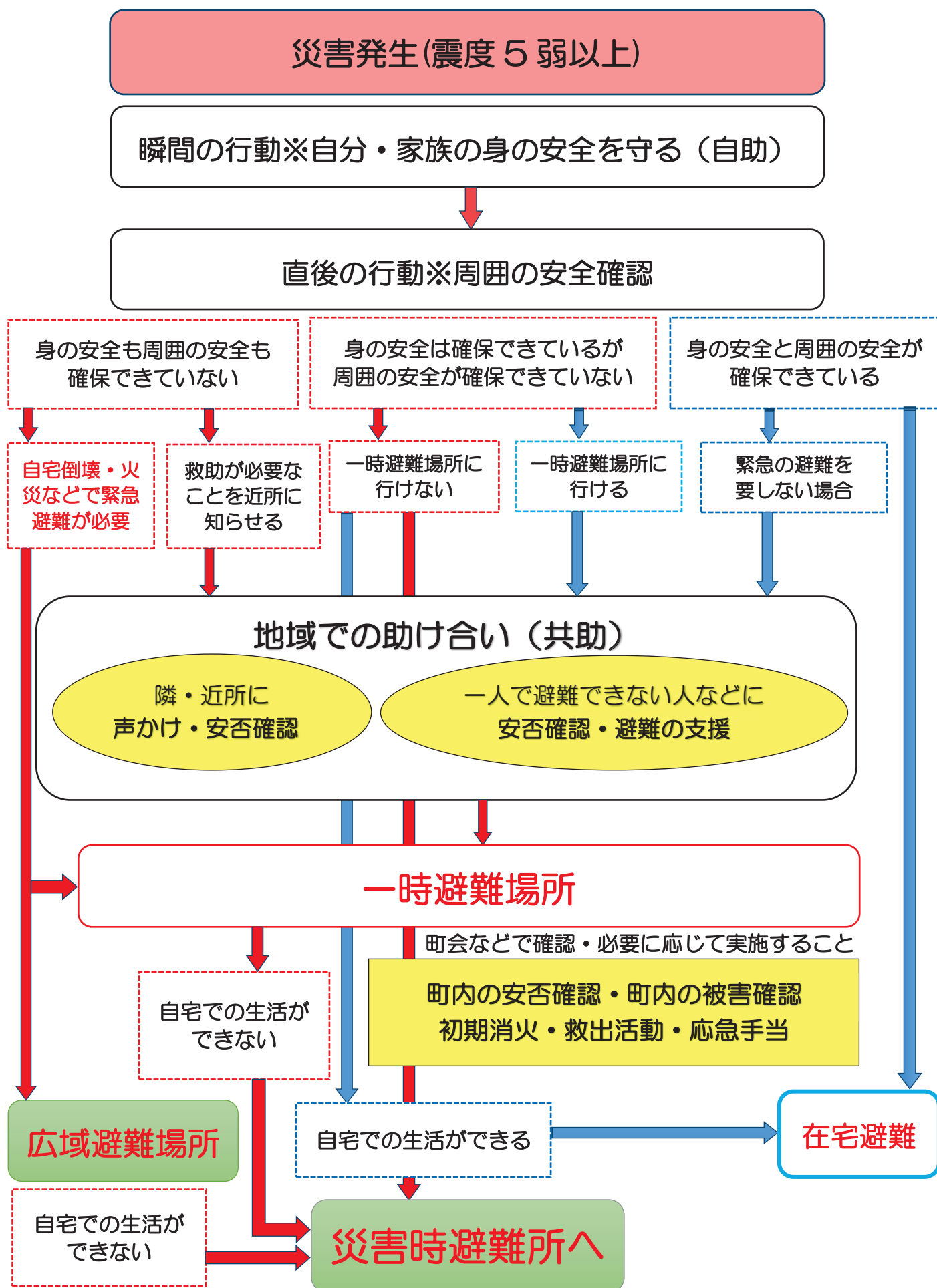
(3) 津波避難ビル



津波避難ビル	所在地	利用可能時間
A 大阪メトロ御堂筋線 東三国駅	東三国 1-33-6	24 時間
B 北中島小学校	宮原 5-3-4	24 時間
C 市営住宅新三国 1 号館 2 号館	西宮原 3-3-12~13	24 時間
D 宮原中学校	西宮原 3-3-2	24 時間
E 東淀川高等学校	宮原 4-4-5	24 時間



5-1. 【地震】発生時の避難行動フローチャート



5-2. 【風水害】発生時の避難行動フローチャート

台風の接近、もしくは淀川や神崎川流域で大雨が長時間になる恐れや線状降水帯が発生した場合

※台風など天気予報情報で事前に災害が予測できる場合がある

自宅周辺の浸水想定を確認する（水害ハザードマップ）

避難情報（警戒レベル3以上）等は発令されていないが、自ら危険と感じた場合

台風等の進路で今後、危険が予想されるが現在は緊急避難を要しない場合

自分・家族の安全確保のための自主避難（自助）
※まずは、災害の危険の少ない親族などの家へ自主避難することを考える

避難情報（警戒レベル3以上）等が発令

地域での助け合い（共助）

隣・近所に
声かけ・安否確認

一人で避難できない人などに
安否確認・避難の支援

自宅の被害が予測され、自らの命も危険で避難を要する場合

災害の危険が少ない親族などの家や安全な場所へ

津波避難ビルへ

災害時避難所へ

避難勧告等が解除され
自宅の安全が確認できて
生活可能な場合

在宅避難

6. 資機材リスト（地域）

保管場所：北中島センター （鍵管理者：連合会長・センター長）	
リヤカー、ジャッキ、発電器、サーチライト、 カセットボンベ（缶）	
保管場所：北中島社会福祉会館 （鍵管理者：社会福祉協議会会長・総務・事務員）	
AED、リヤカー、ジャッキ、車椅子、ビブス（L、LL）、 ポータブルパネル、充電バッテリー	
保管場所：北中島公園 （鍵管理者：防災リーダー隊長・連合会長・宮西会長）	
可搬式ポンプ、ホース、バール、シャベル、ジャッキ、 担架、救急箱、ダイナモラジオ	
保管場所：各町会（町会長）	
車椅子、防災セットリュック	

点検日：令和4年12月12日現在

7. 備蓄品リスト（避難所）

保管場所：北中島小学校 講堂 3 階倉庫 (鍵管理者：防災リーダー隊長・砂中会長・砂中副会長)	
物資名	
あ行	アルミマット、医療バンダナ、ウェットティッシュ、 お手伝いバンダナ、おんぶ隊
か行	懐中電灯、拡声器、紙カップ、給水袋（3 リットル）、 緊急セット、軍手
さ行	災害用エアーマット、災害用担架（かんたんタンカ）、 食器用ラップ、スマートムーバー（簡易担架）
た行	単 1 乾電池（懐中電灯用）、単 2 乾電池（拡声器用）、 ティッシュペーパー、 手指用アルコール消毒液、 特設公衆電話
は行	プライベートルーム、ブランケット（膝掛け）、 防塵マスク、防水シート
ま行	マスク 1 パック、メッシュゼッケンベスト、毛布
ら行	ラジオ、レインコート
わ行	ワンタッチパーテーション
【アルミケース】 避難所開設時事務用品一式 避難所開設キットおよび物品、マニュアル（コロナ禍含む）、 有効活用する備蓄物資一覧表、多言語表示シート	

【救助用資器材】
合図灯、懐中電灯手動式、かけや（木槌）、ガムテープ、 ゴミ袋（90 リットル）、 ジャッキ、充電式ラジオ、 ショベル、手斧、布担架、のこぎり、パール、40m ロープ
【トイレ・おむつ関係】
簡易トイレ（ニード、組立式）、ポータブルトイレ（大）、 トイレ消耗品（ニード）、トイレ付属品、 テント・トイレテント（ワンタッチルーム）、 生理用品（10 パック入り）、 おむつ（幼児 52、新生児 90、こども用 M64、L54）、 おむつ（大人用 M20、L18、介護 L26、介護 M30）
【その他】
哺乳瓶 240ml、ミルトン専用器（CP18 錠付き） ビジョンミルクポン S（除菌用）、ブランケット、容器、割箸、 給水袋（6 リットル）100 個入、輪ゴムセット、懐中電灯、 ラジオ、マスク、体温計、消毒アルコール、カセットコンロ、 ソーラーランタン
保管場所：北中島小学校 4 階多目的室 （鍵は備蓄倉庫内）
ソーラーバッテリー、LED 充電ライト

点検日：令和 4 年 12 月 12 日現在

8. 避難所における共通ルール

北中島避難所運営委員会

避難所は、避難者の生活再建の拠点です。

避難所では避難した住民自身が、避難所の環境をより良く改善していくため、協力しながら運営することが重要です。被災した状況のなかでも、みんなで協力し最善を目指して、より良い避難所生活のため、ルールを守りましょう。



避難所は、地区町会や地域団体からなる自主防災組織が主体となって運営します。

（避難所の運営者も被災者です）

皆様のご協力をお願いします。



避難所では、定期的に居住スペースの移動を行います。最初に座った場所に、ずっと居られるわけではありません。



犬・猫などのペットは、避難所内の居住区には入れません。動物類は決められた場所で、飼い主が責任を持って飼育してください。



「立入禁止」「使用禁止」等の指示には、必ず従ってください。



食料物資などは、原則として、全員に公平に提供できるようになってから配給します。



トイレの清掃は、避難者が交替で行うこととします。ご協力ください。



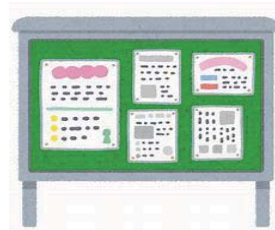
施設内での飲酒・喫煙は、禁止します。



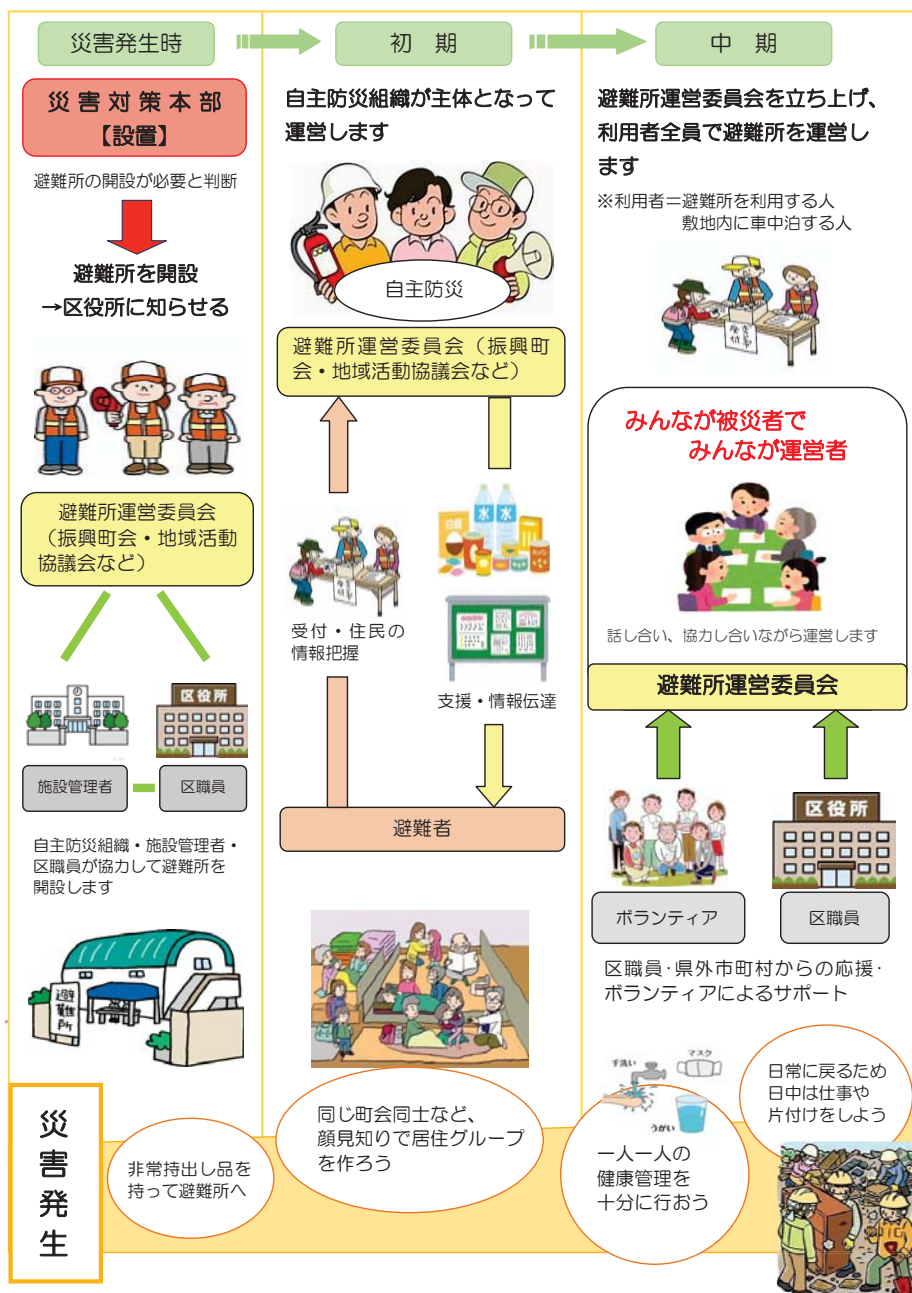
ごみは分別して指定された場所に出してください。



各種の伝達情報は、避難所の掲示板に貼り出します。



9. 避難所開設のながれ



避難所内の役割・分担

【第1グループ】

- ・管理班（避難者の名簿作成など）
- ・情報班（情報の掲示など）
- ・警備班（避難所の警備など）



【第2グループ】

- ・救護班（負傷者の救護など）
- ・要援護者支援班（相談窓口や専用スペースの設置など）
- ・衛生班（感染予防の徹底など）



【第3グループ】

- ・救援物資班（食料や物資を配給）
- ・給水班（備蓄用飲料水を確保・避難者へ供給など）
- ・炊き出し班（炊き出しを行う）



みんなで協力して、自分のできることを、無理せず
にすることが大事だね！

避難所の統廃合・撤収
いつもの生活を目指して

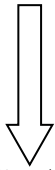


家に戻る、仮設住宅に移るなど

10. 要援護者の支援活動

北中島地域では、災害発生時に、一人では避難することが難しい方（要援護者）一人ひとりに、その方が避難するために支援する方、避難先、配慮が必要なことを記載した「個別避難計画」を作成します。

災害時に支援が必要な方



(1) 「ようえんごしやめいぼ要援護者名簿」に掲載されます。

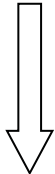
要援護者名簿は

大阪市で把握している区内の要援護者のうち、町会等への個人情報の提供について、本人同意を得られた方たちが掲載された名簿のことです。

※必要な方は町会長に申し出てください。



(2) 地域（町会長や民生委員、見守り相談員など）・区役所・消防署などに情報が共有され、日ごろの見守りや、個別避難計画の作成、災害時の支援に活用されます。



(3) 災害発生時に、逃げ遅れがないか、困っていることがないかなどの安否確認をし、必要があれば安全な場所への避難を支援します。

※避難支援等は実施者による災害時の避難支援を保証するものではありません。



【問い合わせ先】

淀川区役所

※個別避難計画に関すること

市民協働課（防災）

電話 06-6308-9734

※日ごろの見守りに関すること

保健福祉課（保健福祉）

電話 06-6308-9857

11. 非常備蓄品リスト・持出し品リスト

(1) 家庭に備えておくもの（非常時備蓄品）

災害時の備蓄品として、**1週間分**を備えましょう。

確認したら、□に✓を入れてください。

●飲料

- ☐ 飲料水
（2L ペットボトル）
- ☐ 非常用給水袋

●食料

- ☐ アルファ米
- ☐ 乾パン
- ☐ パン缶
- ☐ インスタントラーメン
- ☐ 缶詰類
- ☐ レトルト食品
- ☐ スープ
- ☐ 味噌汁
- ☐ ビスケット
- ☐ キャンディ
- ☐ チョコレート
- ☐ 塩

●衣類

- ☐ 上着
- ☐ 下着
- ☐ 靴下

●生活用品

- ☐ タオル
- ☐ バスタオル
- ☐ 毛布
- ☐ 雨具
- ☐ 予備乾電池
- ☐ 卓上コンロ
- ☐ ガスボンベ
- ☐ 固形燃料
- ☐ 鍋
- ☐ ラップ
- ☐ アルミホイル
- ☐ やかん
- ☐ 皿（紙・ステンレスなど）

□コップ

- （紙・ステンレスなど）
- ☐ わりばし
- ☐ スプーン
- ☐ フォーク
- ☐ 歯ブラシ
- ☐ セッケン
- ☐ ドライシャンプー
- ☐ 携帯電話の充電器
（モバイルバッテリー）
- ☐ 新聞紙
- ☐ 使い捨てカイロ
- ☐ 安全ピン

●その他

- ☐ ブルーシート
- ☐ ガムテープ（布製）



日頃から確認して、
いざという時のために、
備えておいてね！

(2) 避難のために用意しておくもの（持出し品）

リュックサックなど両手が自由に動かせるものに入れておき、いつでもすぐに持ち出せる場所に置いておきましょう。家族の構成を考え必要最小限に絞り込み、一度背負ってみましょう。また、少なくとも年に一度は点検しましょう。

☐ 非常持出し袋	1 個	☐ レジャーシート	1 枚
☐ 缶入り乾パン（110g）	2 個	☐ サバイバルブランケット	2 枚
☐ 飲料水 （500ml ペットボトル）	6 本	☐ 簡易トイレ	2 枚～
☐ 懐中電灯	2 個	☐ タオル	4 枚～
☐ ライター	2 個	☐ ポリ袋	10 枚
☐ 携帯ラジオ	1 台	☐ トイレットペーパー	1 ロール
☐ 十徳ナイフ	1 本	☐ ウェットティッシュ	2 個
☐ 軍手・手袋	2 組	☐ 現金（公衆電話の小銭）	約 50 枚
☐ ロープ 5m～	1 本	☐ ガムテープ（布製）	1 個
☐ 救急袋	1 枚	☐ 油性マジック（太）	1 本
☐ 毛抜き※	1 本	☐ 筆記用具	1 セット
☐ 消毒液※	1 本	☐ 生理用品	
☐ 脱脂綿※	適当量		
☐ ガーゼ（滅菌）※	2 枚		
☐ ばんそうこう※	10 枚～		
☐ 包帯※	2 巻		
☐ 三角巾※	2 枚		
☐ マスク※	2 枚		
☐ 常備薬・持病薬など※	適当量		

（※は救急袋の中に入れておく）

女性
は
約 10kg
が目安

男性
は
約 15kg
が目安



必需品・貴重品類

- ☐ 車や家の予備鍵
- ☐ 予備メガネ・
予備コンタクトレンズ等
- ☐ 預金通帳（写）
- ☐ 健康保険証（写）
- ☐ 運転免許証（写）
- ☐ パスポート
- ☐ わが家の防災メモ（巻末）

赤ちゃん用品

- ☐ 粉ミルク
- ☐ 哺乳瓶
- ☐ おやつ
- ☐ 離乳食
- ☐ スプーン
- ☐ 洗淨綿
- ☐ バスタオル
- ☐ ガーゼ
- ☐ 紙おむつ
- ☐ 母子手帳
- ☐ おもちゃ
- ☐ 着替え
- ☐ ベビーカー
- ☐ おんぶひも
- ☐ 毛布

高齢者用品

- ☐ おむつ
- ☐ 着替え
- ☐ 持病薬
- ☐ 予備メガネ
- ☐ 看護用品

※ローリングストックとは？

1. 少し多めに「買いおき」しましょう！
2. ふだんから消費期限の近いものから使いましょう！
3. 使ったら買い足しましょう！



【ポイント】

- ①食品を消費するときに、味の濃さや辛さを（特に小さいお子さんは、食べられない時があるので）事前に食べられるかを確認することをおすすめします。

からくて、
たべられないよ～



- ②食品を消費する日を我が家の“防災の日”と決めて、集合場所の確認などを話す場としても良いと思います。



※わが家の防災メモ

災害時避難所	
一時避難場所	
津波避難ビル	

緊急連絡先 (親類、知人等)	(さん) 電話番号
	(さん) 電話番号
	(さん) 電話番号

※家族の安否確認方法について

災害時は、携帯電話も一般電話も通話が制限されます。NTTの災害用伝言ダイヤル
・携帯電話の災害伝言板を活用するなど、安否確認方法を決めておきましょう。

①災害伝言ダイヤル

「171」をダイヤルし、ガイダンスに従って伝言を登録・再生できます。

災害用伝言ダイヤルを利用するのに必要なもの…被災地の方の電話番号または携帯番号

【伝言を録音する方法（手順）】

- ①「171」に電話をかける
- ②「1」を押す
- ③被災地の方の電話番号を押す
- ④続けて「1」を押す
- ⑤伝言を録音する※30秒以内
- ⑥録音が終了したら「9」を押す

【伝言を再生する方法（手順）】

- ①「171」に電話をかける
- ②「2」を押す
- ③被災地の方の電話番号を押す
- ④続けて「1」を押す
- ⑤伝言を再生する
- ⑥繰り返し再生する場合は「8」、次の伝言を再生する場合は「9」を押す
- ⑦再生後の伝言の録音は「3」を押す

【体験利用日】

毎月1日・15日 00:00～24:00

正月三が日（1月1日 00:00 ～ 1月3日 24:00）

防災週間（8月30日 9:00 ～ 9月5日 17:00）

防災とボランティア週間（1月15日 9:00 ～ 1月21日 17:00）

・伝言録音時間…30秒 ・伝言保存期間…体験利用期間終了まで ・伝言蓄積数…20伝言

②携帯電話 災害伝言板

安否情報を登録すると、家族や友人が携帯電話番号やパソコンから確認できます。